

添付資料 9 : 土地の利用履歴等調査概要

土地の利用履歴等調査概要

平成 29 年 7 月

【目 次】

1. 調査対象地	1
2. 調査期間	1
3. 土地利用履歴調査結果概要	2
4. 地形・地質調査及び活断層調査	7

1. 調査対象地

- (1) 所在地番 愛知県知多郡東浦町大字石浜字三本松 1 - 1 他
愛知県知多郡東浦町大字石浜字吹付 2 - 1 他
- (2) 地目 宅地
- (3) 敷地面積 約 3.13ha
- (4) 所有者 愛知県

<調査対象地位置図>



地図データ出典：国土地理院

2. 調査期間

平成29年6月15日～平成29年7月14日

3. 土地利用履歴調査結果概要

(1) 調査項目、調査内容及び調査方法

調査項目	調査内容
登記簿等による土地利用履歴調査	調査対象地内の土地のうち、主な土地について、全部事項証明書、閉鎖登記簿謄本等を収集し、所有者の変遷、地目の調査を行った。
地図、航空写真による土地利用履歴調査	調査対象地及びその周辺地域の資料（旧地形図、旧住宅地図及び航空写真）を収集し、土地利用の変遷の調査を行った。
現在の調査対象地及び周辺の土地利用状況の調査	調査対象地及びその周辺地域の現地調査により、現在の土地利用状況の調査を行った。
有害物質使用特定施設の設置や、管理有害物質の使用履歴等の調査	上記各種資料の確認及び現地調査により、水質汚濁防止法第2条第2項に規定する有害物質使用特定施設又は有害物質使用届出施設の設置や管理有害物質の使用等の履歴についての調査を行った。

(2) 調査資料

調査資料	入手方法
全部事項証明書、(移記)閉鎖登記簿謄本	名古屋法務局半田支局 発行
旧地形図	国土地理院所蔵旧地形図 確認
旧住宅地図	東浦町中央図書館所蔵旧住宅地図 確認
航空写真	国土地理院所蔵旧地形図 確認
調査対象地及びその周辺地域の現況写真	現地調査時に撮影（平成29年6月29日）

(3) 調査結果概要

① 登記簿等による土地利用履歴調査

各土地の全部事項証明書、(移記)閉鎖登記簿謄本による調査結果は下表のとおりであり、調査対象地内の土地は、下記各土地の一部である。

大字石浜字三本松 1 番 1 土地は、元番(同所 1 番 1、所有者:愛知県、地目:雑種地)について、昭和 44 年 8 月 4 日に個人、東浦町からの所有権移転(原因:売買)に伴い、愛知県所有の土地とともに合筆され、4 度の分筆を経て(昭和 44 年 8 月 7 日、昭和 44 年 10 月 27 日、昭和 45 年 9 月 14 日、昭和 46 年 9 月 2 日)、昭和 47 年 5 月 9 日に雑種地から宅地に地目変更がなされている。さらに昭和 52 年 4 月 6 日に同所 1 番 6 外 12 筆を合筆し、その後、元番から分割(昭和 52 年 4 月 15 日)を経て現在に至っている。

大字石浜字三本松 1 番 58 土地は、昭和 52 年 4 月 15 日に上記元番(同所 1 番 1)から分割され、現在に至っている。

大字石浜字三本松 1 番 59 土地は、昭和 52 年 4 月 15 日に上記元番(1 番 1)から分割され、さらにその後元番から分割(昭和 58 年 6 月 2 日)を経て、現在に至っている。

地番	地目変更時期	現地目	前地目
大字石浜字三本松 1 番 1	昭和 47 年 5 月 9 日	宅地	雑種地
大字石浜字三本松 1 番 58	昭和 52 年 4 月 15 日に同所 1 番 1 より分筆		
大字石浜字三本松 1 番 59	昭和 52 年 4 月 15 日に同所 1 番 1 より分筆		

大字石浜字吹付 2 番 1 他土地は、元番(同所 2 番 1、所有者:愛知県、地目:雑種地)について、昭和 44 年 8 月 4 日に個人、法人からの所有権移転(原因:売買)に伴い、愛知県所有の土地とともに合筆され、2 度の分筆を経て(昭和 44 年 8 月 7 日、昭和 46 年 9 月 2 日)、昭和 47 年 5 月 9 日に雑種地から宅地に地目変更がなされている。さらに昭和 52 年 4 月 6 日に同所 3 番 2 を合筆し、その後、元番から分割(昭和 52 年 4 月 15 日)を経て現在に至っている。

大字石浜字吹付 2 番 194 土地は、昭和 52 年 4 月 15 日に上記元番(同所 2 番 1)から分割され、現在に至っている。

地番	地目変更時期	現地目	前地目
大字石浜字吹付 2 番 1	昭和 47 年 5 月 9 日	宅地	雑種地
大字石浜字吹付 2 番 194	昭和 52 年 4 月 15 日に同所 2 番 1 より分筆		

② 地図、航空写真による土地利用履歴調査

旧地形図、旧住宅地図及び航空写真による調査対象地の土地利用履歴の調査結果は下表のとおりである。

調査対象地及びその周辺地域は、昭和 43 年頃までは、概ね山林・農地として利用されていたことを旧地形図（明治 23 年等）、航空写真（昭和 23 年等）により確認した。

昭和 49 年以降、現在に至るまで調査対象地は公営住宅（愛知県営東浦住宅）の敷地として利用されていたことを旧地形図、旧住宅地図及び航空写真により確認した。

年代	根拠資料		調査対象地土地利用状況
1890 年代	旧地形図	1890 年（明治 23 年）	山林・農地
1920 年代	旧地形図	1927 年（昭和 2 年）	
1930 年代	旧地形図	1932 年（昭和 7 年）	
1940 年代	旧地形図	1945 年（昭和 20 年）	
	航空写真	1948 年（昭和 23 年）	
1950 年代	旧地形図	1956 年（昭和 31 年）	
	航空写真	1958 年（昭和 33 年）	
1960 年代	航空写真	1964 年（昭和 39 年）	造成中
	航空写真	1968 年（昭和 43 年）	
	旧地形図	1969 年（昭和 44 年）	
1970 年代	旧住宅地図	1970 年（昭和 45 年）	公営住宅
	旧地形図	1971 年（昭和 46 年）	
	航空写真	1972 年（昭和 47 年）	
	航空写真	1974 年（昭和 49 年）	
1980 年代	旧地形図	1977 年（昭和 52 年）	
	旧住宅地図	1978 年（昭和 53 年）	
1980 年代	旧地形図	1982 年（昭和 57 年）	公営住宅
	航空写真	1986 年（昭和 61 年）	
1990 年代	航空写真	1995 年（平成 7 年）	
	旧地形図	1996 年（平成 8 年）	
2000 年代	航空写真	2006 年（平成 18 年）	
	旧地形図	2007 年（平成 19 年）	
2010 年代	航空写真	2010 年（平成 22 年）	

③ 現在の調査対象地及び周辺の土地利用状況の調査

a) 調査対象地の土地利用状況

愛知県営東浦住宅として利用されている。



南西方より調査対象地



北西方より調査対象地



北東方より調査対象地



南東方より調査対象地

調査対象地の現在の土地利用状況

b) 周辺の土地利用状況

調査対象地の北側には愛知県営東浦住宅、西側には戸建住宅、南側には雑種地、東側には戸建住宅団地が存する。

④ 有害物質使用特定施設の設置や、管理有害物質の使用履歴等の調査

調査対象地は、①登記簿等による土地利用履歴調査、②地図、航空写真による土地利用履歴調査及び③現在の調査対象地及び周辺の土地利用状況調査の各調査結果より、昭和 43～49 年頃より現在に至るまで愛知県東浦住宅の敷地として利用されてきており、それ以前は山林・農地であったと判断される。

従って、調査対象地については、土壤汚染の可能性が考えられる工場等の立地の履歴はない。また、土壤汚染対策法に規定する要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定、並びに、水質汚濁防止法の有害物質使用特定施設及び下水道法の特定施設の届出はなされておらず、土壤汚染対策法施行後において、調査対象地に土壤汚染を生じさせるおそれがあると思われる施設が存在したことも確認されなかった。

⑤ 土地利用履歴調査結果まとめ

上記調査結果より、調査対象地は、昭和 43～49 年頃より愛知県東浦住宅の敷地として利用されてきており、かつ、調査対象地については、土壤汚染対策法に規定する要措置区域及び形質変更時要届出区域の指定、並びに、水質汚濁防止法の有害物質使用特定施設及び下水道法の特定施設の届出はなされておらず、調査対象地に土壤汚染を生じさせるおそれがあると思われる施設が存在した履歴はないと考えられることから、調査対象地において土壤汚染が存する可能性は低いと考えられる。

4. 地形・地質調査及び活断層調査

(1) 調査項目、調査内容及び調査方法

調査項目	調査内容
調査対象地周辺の地形・地質概要	調査対象地周辺の地形・地質に関する資料（地形分類図、表層地質図）を収集し、地形・地質に関する概況調査を行う。
調査対象地周辺の活断層	調査対象地周辺の活断層に関する資料（活断層図）を収集し、地形・地質に関する概況調査を行う。

(2) 調査資料

調査資料	資料名
地形分類図、表層地質図	地形分類図（半田） 表層地質図（半田）
活断層図	愛知県活断層アトラス（平成9年9月発行）

(3) 調査結果概要

① 地形概要

下図に示されるとおり、調査対象地の地形地域区分は「大府・半田丘陵」に属しており、人工改変地に位置する。



資料出典：地形分類図（半田）

②地質概要

下図に示されるとおり、調査対象地の表層地質は、常滑層群と呼ばれる地層に分布する「泥、砂、礫互層」から形成される。



凡 例

未固結堆積物 Unconsolidated sediments	r	埋立地 Reclaimed land	1	人工造成地 Artificial deposits
	sm	砂・泥を主とする層 Sand and mud-rich sediments	1	現河床・海岸平野堆積物 Present river and coastal plain deposits
	smg	砂・泥を主とし、礫を伴う層 Sand and mud-rich sediments with gravels	1-(b)	低位・中位段丘堆積物 Lower and middle terrace deposits
半固結堆積物 Semi-consolidated sediments	g	礫を主とする層 Gravel-rich sediments	2·b	武豊層及び相当層 Taketoyo formation and its equivalents
	msg	泥・砂・礫の互層 Alternations of muds, sands and gravels	2·b	常滑層群 Tokoname group

資料出典：表層地質図（半田）